

春季講演会のお知らせ

1. 期日 3月24日(金) 9時30分より
2. 場所 東京都千代田区大手町 気象庁内
3. 研究発表募集
 - 1) 締切: 1月31日(火) 必着
 - 2) 申込先: 東京都千代田区大手町 東京管区気象台調査課 河村 武
 - 3) 様式: かならず所定の用紙に記入すること(天気 Vol. 13, No. 12(本号)に綴込), 用紙不足の場合は, 事務局または支部にご請求下さい。
 - 4) 講演時間: 討論を含んで1題30分以内とする。また講演会の性格上, 代読でも結構ですが, 討論して欲しい点を明らかにして下さい。

昭和42年度春季大会は5月16日(火)~18日(木), 仙台市において開催される予定(詳細は次号に告示)です。これまでの状況から判断して, 大会での研究発表は時間的制約がきびしいことが予想されます。今回の講演会は, これまで通り, 充分に意をつくした討論をすることを最大の目的とする会です。大研究, 小研究を問わず, アイディアを主とする未完成のものでも, また研究の途中でも討論をして欲しいものは自由に申込んで下さい。ただし, 研究発表は冗長にわたらぬよう, 事前に内容を整理し, 問題点を明確にして持時間を有効に使えるよう御配慮下さい。

シンポジウム「気候変動の機構について」

日時: 昭和42年2月24日 9時30分~17時

会場: 気象庁第1会議室

[1] 最近の気候変動と長期予報(9時30分~11時)

座長: 速水頌一郎(東海大)

- (1) 最近の気候変動について 山本武夫(山口大)
- (2) 最近の長期予報の動向 和田英夫(気象庁)

[2] 太陽活動と地球大気および地磁気との関係(11時~12時, 13時~13時30分)

座長: 広瀬秀夫(東京天文台)

- (1) 太陽活動について 河鱈公昭(東京天文台)
- (2) 電波からみた Solar-Terrestrial Relationship
榎谷 績(電波研)
- (3) 大気と宇宙空間との相互作用
高橋浩一郎(気象研)

[3] 大気と地球との相互作用(13時30分~14時30分)

座長: 高橋浩一郎(気象研)

- (1) 海洋の気象に及ぼす影響
岸保勤三郎(気象庁)
- (2) 北氷洋およびその周辺地域の気候学的役割
樋口敬二(名大)

休憩(14時30分~14時30分)

[4] 大気大循環の変動(14時45分~16時)

座長: 荒川秀俊(気象研)

- (1) 成層圏循環の変動 広田 勇(東大)
- (2) 大循環と熱収支 栗原宜夫(気象研)

(3) 大循環の変動と気候変化 朝倉 正(気象研) [5] 総合討論(16時~17時)

座長: 上田弘之(電波研)

長期予報月例会の行事として気候変動総合研究班(文部省科研費“台風, 豪雪, 豪雨の研究”)による研究組織の一部)との共催で, とくに広く各分野の講師をお招きしてシンポジウムを開催することにした。なるべく多数の会員が参加されるよう希望します。(気象学会講演企画委員会)

月例会のお知らせ

主題: レーダー気象

会期: 昭和42年2月18日(土) 9時30分より

会場: 気象庁第1会議室

プログラム・講演要旨は表紙3頁参照。

研究発表募集

主題: 大気電気シンポジウム

会期: 昭和42年3月14日(火) 10時~

会場: 気象庁内

申込先: 東京都杉並区高円寺北4-35

気象研究所高層物理研究部 北川信一郎

締切期日: 昭和42年2月10日(金) 必着

内容は研究発表・総合報告のいずれでも結構ですが, 必ず氏名・所属・題目・所要時間・アブストラクト(400字以内)を付けて申込んで下さい。